



訪問ガイド 2026

9/11メモリアル&ミュージアム

ニューヨーク・から 31.65€

<https://911memorial.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金

歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

欠如を映す建築の誕生

GOOGLE **4.8** ★★★★★ 94 432 レビュー

TIQETS **4.9** ★★★★★ 6 352 レビュー

ワールドトレードセンターの跡地にあるこの場所は、単なる記念碑ではなく、集合的記憶を形作るための国家的なプロジェクトでした。2001年9月11日の同時テロ攻撃で2,977人が犠牲になった後、ニューヨーク市はどのようにして「欠如」を建築として表現するかという難題に直面しました。2003年に開催された国際コンペティションでは、世界中から多数の案が寄せられましたが、最終的に選ばれたのはイスラエル系アメリカ人の建築家マイケル・アラド氏と造園家のピーター・ウォーカー氏の共同設計による **Reflecting Absence**（欠如を映す）というコンセプトでした。彼らのデザインは、双塔が立っていた正確な位置に設置された2つの巨大な反射池と、それを囲む湿地白樺の森から構成されており、物理的な存在よりも「不在」そのものを追悼する大胆なアプローチを取っています。

建設過程自体もまた、歴史的なドラマに満ちていました。2006年3月に着工したこのプロジェクトは、元々のマスタープランを担当したダニエル・リベスキンド氏の要件である「建物がタワーの敷地を覆うべき」という指示を唯一無視した最終候補となりました。代わりに、記念碑は街路レベルより9.1メートル下に配置され、訪れる人々が地面を踏みしめながら過去と対話できる空間を創出しました。**2011年9月11日**、同時テロ事件からちょうど10年の日に、犠牲者の家族や関係者による献堂式典が行われ、翌日より

一般公開されました。この日は、悲しみと希望が交錯する瞬間であり、ニューヨーク市民にとって深い意味を持つ日となりました。

博物館の開館はさらに遅く、**2014年5月**に行われました。バラク・オバマ大統領による公式献堂から6日後、一般向けに開門したこの施設は、遺品や歴史資料を通じて9/11の物語を伝えることを使命としています。特に注目すべきは、1993年2月6日に発生したワールドトレードセンター爆破事件での6名の死者も追悼している点です。これにより、この場所が以前にもテロ暴力の影響を受けていたことを思い起こさせ、記憶の場にさらなる歴史的意義の層を加えています。犠牲者の名前は、「意味のある隣接性」に従って配置されており、攻撃時に一緒にいた人々や強い家族関係を持つ人々をグループ化しています。

今日、9/11メモリアル&ミュージアムは、非営利団体によって運営され、教育プログラムや資源を提供することで、学生、教師、家族、そして一般公衆に対して9/11の継続的な影響と重要性について理解を深める役割を果たしています。毎年行われる追悼式典や、学校向けの特別ツアーなど、多様な活動を通じて、この場所は単なる過去の記録ではなく、未来への教訓として機能し続けています。再生と持続を表すオークの森は、破壊にもかかわらず生命が続くことを象徴しており、密集して騒がしい都市の中心部に貴重な緑の避難所提供しています。

体験

グリーニッチストリートから降り立つと、まず目に入るのは静寂に包まれた広大な公園です。空の高層ビル群とは対照的に、地面には水が流れ落ちる音だけが響き渡り、訪れる人々の心をすぐに沈静化させます。反射池の縁には、犠牲者の名前が刻まれたブロンズのパネルが並び、それぞれの名前の背後にある人生の重みを肌で感じることができます。風が木々を揺らし、水面に波紋を生み出す様子は、時間の経過とともに癒やしをもたらすかのように見えます。ここでの体験は、視覚的な美しさだけでなく、触覚的な感覚も含んだ多層的なものとなります。

地下へと降りると、雰囲気は一変します。暗く没入感のある展示室では、当時の映像や音声証言が流され、訪問者は直接当事者の視点に立たされるような緊張感に襲われます。ガラスケースの中には、焼け焦げた断片や個人物品が丁寧に保管されており、それら一つひとつが強烈な感情を引き起こします。オーディオガイドを通じた専門家の解説は、複雑な歴史的展示物の理解を大幅に豊かにし、各遺物を文脈化する手助けをしてくれます。この空間では、個人的喪失と社会的回復の物語が交差し、訪れる人々に深い内省を促します。



訪問の準備

実用的な情報

住所

フィナンシャルディストリクト ・ 地下鉄: Cortlandt St (A, C, E) または Fulton St (A, C, E, J, Z, 2, 3, 4, 5)。

営業時間

博物館は火曜日（例外を除く）および9月11日に閉館します。屋外の記念碑は年間を通じて毎日開いています。

料金

4歳未満の子供は無料。{promo}。希望する時間帯を確保するために数ヶ月前に予約してください。

所要時間

博物館をゆっくり見学するには45〜90分を見込んでください。セキュリティチェックと生体認証ゲートにはさらに30分を追加してください。

写真撮影

写真撮影は一部の区域では許可されていますが、機微な遺品の近くでは禁止されています。現場の看板をご確認ください。

対象年齢

内容が激しいため、12歳以上(+12歳)の青少年向けです。屋外記念碑は子供もアクセス可能ですが、歴史を理解するための事前準備が必要です。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



サブウェイ

: WTC Cortlandt — 1 min à pied

ペンステーションにあるニューヨーク・モイニハン・トレインホール (17 min)・グランドセントラル駅 (19 min)



バス

: WTC Cortlandt — 1 min à pied

New York Moynihan Train Hall At Penn Station (27 min)・Grand Central Station (30 min)



車

New York Moynihan Train Hall At Penn Station (19 min)・Grand Central Station (21 min)



Citi Bike / 自転車

New York Moynihan Train Hall At Penn Station (24 min)・Grand Central Station (27 min)

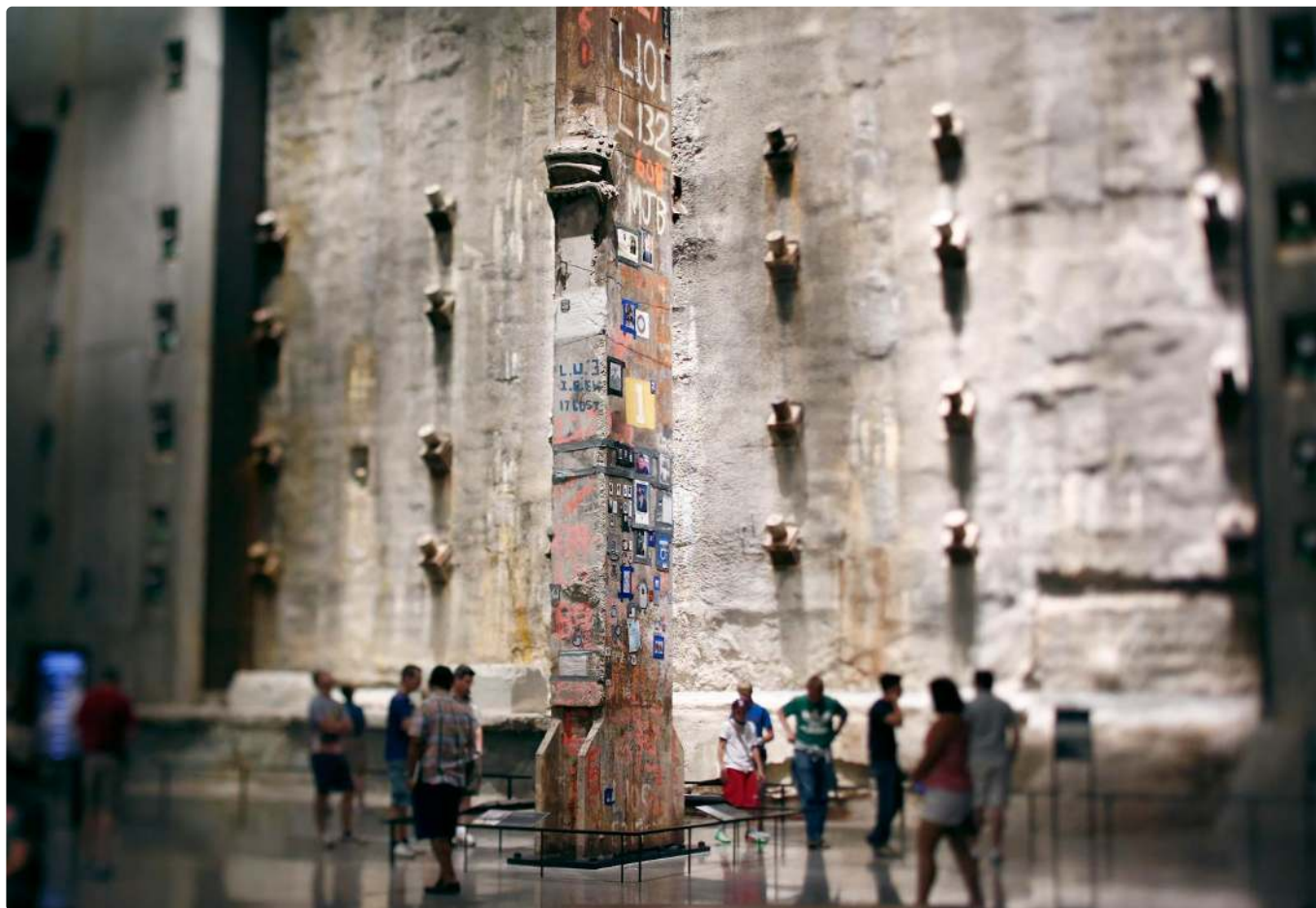
LOCALISATION

Où se trouve 9/11メモリアル&ミュージアム？



📍 180 Greenwich Street — NY 10007 ニューヨーク

🌐 40°42.692' N, 74°0.824' O



組織

地上から地下へ、記憶の旅

屋外記念碑 (地表)

2つの巨大な反射池と、周囲を囲む湿地白樺の森が広がります。池の縁には犠牲者の名前が刻まれており、訪れる人々はゆっくりと歩きながら追悼します。中央部には「サバイバーツリー」と呼ばれる象徴的なオークの木があり、レジリエンスのシンボルとして知られています。ここでは写真撮影が可能です。機微な区域では禁止されているため、看板を確認してください。

博物館入口・ロビー(地下)

セキュリティチェックを経て入場すると、まず目に飛び込んでくるのは、崩壊したビルの柱の一部です。この巨大な鋼鉄構造は、当時の惨状を直感的に伝えます。ロビーからは、オーディオガイドのレンタルカウンターやギフトショップが見え、訪問の準備を整えることができます。照明は控えめで、静謐な雰囲気を醸し出しています。

メイン展示室(地下深く)

直線的な動線に沿って進んでいくと、複数のテーマ別展示室が登場します。「最後の分」「レスキュー」「回復」などのセクションに分かれており、映像、音声、実物資料を組み合わせで物語を展開します。特に印象的なのは、犠牲者の私物や焼けた書類が展示されている部屋で、訪れる人々の感情を揺さぶります。写真撮影は一部のみ許可されています。

アクセシビリティ

 車椅子アクセス

エレベーターと専用スロープを備えたPMR（身体障害者）完全アクセス対応。博物館および公園エリアに適用。

 ファミリー向け

ティーン向けインテンシブコンテンツ；屋外記念碑は保護者の事前準備のもとでアクセス可能。

 オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

絶対に外せない追悼のポイント

01

屋外記念碑

南池と北池

双塔の痕跡を示す2つの反射池は、欠如を象徴する最も強力な要素です。水が絶えず流れ落ちる音は、静寂の中で訪れる人々の心を落ち着かせ、瞑想を促します。池の縁には犠牲者の名前が刻まれ、家族や友人が特定の場所に集まって追悼することができます。

💡 池の深さは9.1メートルで、これは9月11日を連想させる意図的な設計です。

02

屋外記念碑

サバイバーツリー

9/11の瓦礫の中から生き延びたこの湿地白樺は、再生の象徴として世界中から注目を集めています。毎日多くの人々が写真を撮りに訪れますが、早朝であれば比較的空いているため、孤立した構図で撮影できます。木の根元にはベンチがあり、一休みしながら考えることができます。

💡 この木は当初撤去予定でしたが、市民の反対運動により保存が決まりました。

03

博物館ロビー

最後の柱 (The Last Column)

崩壊したビルから回収された巨大な鋼鉄の柱は、破壊の規模を直感的に理解させるための重要な展示物です。その重厚さと歪んだ形状は、言葉では表せない衝撃を与えます。ロビーの天井近くまで伸びているため、訪れる人々は自然と頭を上げ、畏敬の念を抱きます。

💡 この柱は、建物の倒壊を防ごうとした消防士の勇気を象徴しています。

04

屋外記念碑

犠牲者の名前パネル

ブロンズに刻まれた2,977人の名前は、意味のある隣接性に基づいて配置されています。つまり、一緒に働いていた同僚や家族同士が近くに並んでいるため、親族は地理的に繋がりを感ずることができます。この細やかな配慮は、追悼の質を大きく高めています。

💡 名前の配置には何年もかかり、家族からの意見を取り入れながら調整されました。

05

メイン展示室

レスキューとリカバリー展示

消防士や警察官の制服、ヘルメット、無線機などが展示されており、英雄的行為の詳細な記録となっています。映像を通じて、彼らがどのように危険な状況下で行動したかが分かりやすく説明されます。訪れる人々は、これらの道具に触れることで、当時の緊迫感を想像できます。

💡 一部の装備は実際に使用されたもので、傷や汚れが残っています。

06

メイン展示室

フライト93の展示

ペンシルベニア州シャンクスヴィルで墜落したフライト93に関する専用展示室では、乗客たちの抵抗と勇気が強調されています。録音された通話内容や手書きのメモなどが公開され、彼らがテロリストに対抗しようとした事実が明らかになります。

💡 この便の乗客たちは、ホワイトハウスへの突入を防ぐために命を捧げました。

07

博物館入口付近

1993年爆破事件の追悼

多くの人が知らない事実ですが、この場所は1993年のWTC爆破事件での6名の死者も追悼しています。この包含により、連続する悲劇の文脈が示され、記憶の層が厚くなります。小さな展示コーナーではありますが、歴史的な重要性を無視できません。

💡 1993年の爆発は、地下駐車場で発生し、63人が負傷しました。

08

屋外記念碑

オークの森

池の周りに植えられた湿地白樺の森は、自然の回復力を表しています。コンクリートジャングルの中で緑が生い茂る姿は、希望の象徴として機能し、訪れる人々に安らぎを提供します。季節ごとに葉の色が変わるため、何度訪れても新しい発見があります。

💡 これらの木々は、ニューヨーク市の環境基準を満たすよう特別に選定されました。

アドバイス

敬意を持って訪れるための準備

TIMING

指定された時間枠の少なくとも30分前に到着してください。セキュリティチェックは厳格で国際空港と同様であり、追加の時間を要します。

PARCOURS

正午頃の観光客の大規模な流入前に、屋外公園は通常、朝の早い時間帯の方が混雑しません。個人的な瞑想に適した穏やかな雰囲気を楽しむため、この無料の記念碑から一日を始めましょう。

PAUSE

感動的なワールドトレードセンター記念碑と博物館の訪問後に昼食を取るのに最適な、多くのレストランやフードホールがあるFulton Street Restaurantsエリアで休憩しましょう。

AUDIOGUIDE

米手話を含む9つの異なる言語で利用可能なオーディオガイドは、複雑な歴史的展示物の理解を大幅に豊かにします。博物館の暗く没入感のある部屋で提示される各遺物を文脈化する専門家の解説を得るため、必ずレンタルしてください。

BILLET

チケットは非常に早く売り切れるため、公式サイトを通じて理想の数ヶ月前に予約し、あなたの日常スケジュールに完璧に合う時間枠を選択して席を確保してください。

PHOTO

サバイバーツリーは一日中密集した群衆に囲まれやすく、孤立した写真を撮るのが困難です。視覚的な障害物や撮影構図を妨げる人物なしでこのレジリエンスの象徴を捉えるため、開門直後の早朝に行きましょう。

ENFANTS

博物館の内容は特にintenseで、衝撃的な画像や直接的で動揺させる証言が含まれています。若者たちがこれらの残酷な現実を不必要な即時的外傷なしに理解し吸収できるよう、見学前に歴史的な文脈を明確に説明してください。

CONFORT

広大な屋外の池を巡り、その後地下の博物館へ降りる階段を歩くなど、見学には多くの歩行が含まれます。長時間の歩行に適した快適な靴を必ず着用し、感情的にintenseな時間の間に身体的苦痛を感じないようにしてください。



よくある質問

よくある質問

博物館の事前予約は必要ですか？

はい、予約は必須で最大6ヶ月前から可能です。時間枠は厳格でチケットはすぐに売り切れます。週末は特に混雑します。できるだけ早く日付を確認してください。

メモリアルを訪れる場合、チケットなしで博物館に入場できますか？

いいえ、これらは別々のアクセスです。屋外メモリアルは無料で誰でも利用可能ですが、博物館には別途購入した有料チケットが必要です。有効な博物館チケットなしでの相互移動は許可されていません。

キャンセルポリシーは何ですか？

条件はチケットの種類によって異なりますが、訪問数日前までの無料キャンセルが可能なことが多いです。追加料金が発生しないよう、購入時に特定の条項を確認してください。柔軟性は使用プラットフォームによります。

割引料金がありますか？

学生、シニア、米国軍人向けの優待価格があります。4歳未満の子供は通常無料入場です。予約前に公式サイトで該当資格をご確認ください。

メモリアルと博物館の違いは何ですか？

メモリアルは反射池と刻まれた名前がある無料の屋外公園です。博物館は遺品や歴史展示を含む有料の屋内施設です。これらは補完的でありながら明確に区別された2つの体験です。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

欠如に基づくデザイン哲学

建築家のマイケル・アラド氏と造園家のピーター・ウォーカー氏は、2004年に双塔の物理的な存在ではなく欠如に基づいた大胆なデザインでコンペティションに勝利しました。彼らの作品は、ツインタワーが立っていた正確な位置に設置された2つの反射池を使用し、静かな瞑想を促します。

意味のある隣接性の原則

2,977人の犠牲者の名前は、ランダムではなく意味のある隣接性に従って配置されています。攻撃時に一緒にいた人々や強い家族関係を持つ人々をグループ化することで、家族は追悼の池の周囲で地理的に親族を見つけることができます。

リベスキンド計画との決別

一般的に思われている contrary に、優勝したデザインは、建物がタワーの敷地を覆うべきというダニエル・リベスキンドの要件を無視した唯一の最終候補でした。これにより、記念碑は街路レベルより9.1メートル下に位置し、開放的な空間を実現しました。

1993年爆発事件の包含

記念碑は、2001年9月の悲劇よりもずっと前の1993年2月6日に発生したワールドトレードセンター爆破事件での6名の死者も追悼しています。この包含は、この場所が以前にもテロ暴力の影響を受けていたことを思い起こさせ、記憶の場にさらなる歴史的意義の層を加えています。

博物館周辺

フィナンシャルディストリクトは、歴史的建造物と現代的な高層ビルが混在するユニークなエリアです。訪問前後には、ワンワールド・オブザーバトリーに登り、マンハッタン全体を一望することをお勧めします。また、ジョージ・ワシントンが就任宣誓を行ったフェデラルホール国立記念碑も無料で見学でき、ローワー・マンハッタンの文化的訪問を補完するのに理想的です。昼食には、Fulton Street Restaurantsで活気あるフードホールを楽しみましょう。最後に、セントニコラス・ギリシャ正教会で精神的な内省の時間を過ごすのもおすすめです。



9/11メモリアル&ミュージアムの訪問は、単なる観光ではありません。それは、人類の脆弱性と強靭さを同時に垣間見る機会です。涙を流しながらも、希望を見つけることができる場所。ここで得た感動と知見は、あなたの人生観を変えるかもしれません。ぜひ、心を開いて訪れてください。